

## 脱炭素先行地域づくり事業（地域脱炭素移行・再エネ推進交付金）について

### 1. 脱炭素先行地域の概要

特定の地域における脱炭素及び地域課題の解決方法等の取組をまとめ、環境省の審査を受けて採択されると「脱炭素先行地域」に指定され、補助金の交付を受けることができる。3回目の公募結果が公表され62の地域が促進区域に選定された。補助率が重点対策加速化交付金よりもよい一方で、最低条件のハードル及び競争率が高い（採択率は30%程度）。

### 2. 脱炭素先行地域の主要な要件や評価事項

#### (1) 主な要件

- ①民生部門（一般家庭、サービス業、公務）の電力消費に伴う二酸化炭素排出量を実質ゼロにすること。
- ②地域資源等の最大活用、地域課題解決への十分な貢献等により、既選定の脱炭素先行地域とは異なる先進性が認められること。

#### (2) 主な評価事項

- ①新規の再エネ設備の導入量が大きな計画であること。
- ②計画の実現可能性（計画の具体性、関係者との合意形成の状況）

### 3. 第4回先行地域公募への申請

電力需要の適量性や新規再エネ導入の可能性、既存再エネ発電所の設置状況等を勘案し、八幡平地域を選定した。まだ、計画内容の熟度が高くない状況ではあるが、現時点での取り組みの評価を受けるため、8月に行われた第4回公募に応募をした。

### 4. 申請の概要

(1) 八幡平地域民生部門電力需要量 12,053,194kWh（鹿角市全体の約10.5%）

#### (2) 新規再エネ導入量

	設備容量 (kW)	発電量 (kWh)	備考
太陽光	11,130	7,388,171	
一般家庭	4,764	2,086,632	1,241世帯の1/3に設置と仮定
事業所	1,337	1,021,791	27事業所
遊休地	5,029	4,149,523	
小水力	225	1,379,503	5か所
風力	99	218,562	49.5kW×2基
既存再エネ	—	3,066,958	既存電源発電量割合約25.4%
計	—	12,053,194	

### (3) 地域課題の解決に関する取組

- ①EV バス、EV ステーション導入による観光振興
- ②もみがら・木質バイオマスボイラー導入による熱利用

## 5. 今後の課題

### ①実現可能性向上の負担

第3回公募以降、環境省は計画の実現可能性を公募の段階から厳しく審査するようになった。実現可能性を向上させるためには、地元調整や事業性評価などをしなければならないが、現時点でも地元業者の負担になっている。

### ②新規再エネの実現可能性

新規再エネ計画の中には構想に近いものも含まれており、今後、調整等を実施していく中で、実現が難しいことが判明する案件が出てくるものと思われる。

### ③選定済みの先行地域にない先進的な取組について

8月に行われた第4回先行地域公募から「選定済の脱炭素先行地域とは異なる先進性」が選定要件に追加された。すでに62か所の地域が先行地域として選定されており、先進性がありかつ実現可能性の高い取組を考案することが難しくなっている。

## 6. 今後の予定

第4回公募の結果は11月に判明する予定。また、第5回公募は令和6年2月に行われる見込みであり、実現可能性向上に向けた取組を推進していく。